

文化觀光部

観光プロモーション課

課長 小口 一夫

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 観光プロモーション課

事務事業名	観光宣伝事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	観光宣伝事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

松本市観光ビジョンの具現化を図りながら、本市の特色を生かして、国内への積極的なプロモーション活動を展開するとともに、広域観光ルートの整備促進、受入態勢の整備、各種イベントの実施等により誘客促進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 1 広告宣伝事業
 - (1)パンフレット等の作成
 - (2)高速バスラッピング広告
- 2 首都圏等誘客促進事業

商談会参加、観光情報の発信
- 3 就航先都市誘客促進事業
 - (1)札幌(新千歳・丘珠)・福岡・大阪・神戸営業活動
 - (2)松本観光コンベンション協会福岡営業所の運営
 - (3)旅行代理店への助成制度
 - (4)就航先のメディアを活用した利用促進PR
- 4 受入体制整備事業

観光案内所運営事業、松本まちなか観光ボランティア運営事業
- 5 県内都市連携事業

上田市連携バス運行事業
- 6 負担金
 - (1)国宝松本城太鼓まつり・光と氷の城下町フェスティバル
 - (2)ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース(中止)
 - (3)夏まつり松本ぼんぼん(中止)
 - (4)北陸・飛騨・信州3つ星街道協議会
 - (5)美ヶ原高原直行バス運行事業
 - (6)福寿草まつり(中止)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	拡充
・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、イベントが中止になり、観光地の入込者数が激減しているため、ポストコロナのプロモーションが必要である。。 ・新たな観光コンテンツとして、夏の周遊促進キャンペーン及び松本城イルミネーションとの相乗効果を図った冬の宿泊促進キャンペーンを実施し、消費・滞在を伸ばす。 ・市内で実施されるイベントを活用するとともに周辺自治体等と連携し、大都市圏及び就航先都市等からの誘客促進を図る。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-4	変化する時代の観光戦略	市長公約	公約	3 産業・経済
5つの重点戦略		ポストコロナ戦略	主な取組み	○ 松本城や周辺区域の総合的整備(歴史観光エリア、セントラルパーク)	
予算要求区分		経常経費・政策的経費			

<指標の達成状況>

区分	総合評価		A		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	各種プロモーション活動の成果を測れるため				
目標値	3,000,000	3,985,000	4,980,000	5,220,000	5,470,000
実績値	2,628,196				
達成度	87.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	169,820				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	169,820				
② 人件費(千円)	25,790	人工			
正規	22,770	3			
会計年度任用(7月1日、10月1日・2類)	3020	1			
会計年度任用(10月1日・3・4類)	0				
合計コスト①+②	195,610				

事務事業評価票

部局名: 文化観光部 課名: 観光プロモーション課

事務事業名	観光団体育成事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	観光団体育成事業費

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-4	変化する時代の観光戦略
5つの重点戦略		ポストコロナ戦略
予算要求区分		経常経費・政策的経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	—
主な取組み		—

<事業の狙い>

事業計画年度

～

本市及び周辺自治体並びに長野県等、他団体と連携した広域観光プロモーションに取り組むため、各種団体に負担金を支出するもの。
また、各団体等に対して補助金を支出し、各地域の魅力発信及び誘客促進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 1 負担金
 - (1) 松本観光コンベンション協会
 - (2) 日本アルプス観光連盟
 - (3) 美ヶ原観光連盟
 - (4) 長野県観光機構
 - (5) 中部森林管理局国有林観光施設協議会
 - (6) 信州まつもと空港利用促進協議会
 - (7) アルプスエアラインクラブ
 - (8) ぶり街道推進協議会
 - (9) 信州まつもと空港地元利用促進協議会
 - (10) スノーリゾート信州プロモーション委員会
- 2 補助金
 - (1) 浅間温泉観光協会
 - (2) 温泉地魅力創出発信事業
 - (3) 市民参加料理コンクール(中止)
 - (4) (一社)アルプス山岳郷
 - (5) (株)ふるさと奈川

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、各種イベントが中止になり、観光地の入込客数が激減しているため、ポストコロナのプロモーションが必要である。 ・各団体と協力・連携しながら、各種イベントの開催や広告宣伝、誘客事業等効果的な事業展開を図るとともに、広域圏での観光誘客を推進する。 ・各団体の特性を生かした事業展開のための支援を行い、観光振興を図る。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	各種団体のプロモーション活動による結果であるため				
目標値	3,000,000	3,985,000	4,980,000	5,220,000	5,470,000
実績値	2,628,196				
達成度	87.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	89,223				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	89,223				
② 人件費(千円)	18,200	人工			
正規	15,180	2			
会計年度任用 (71914、719141・2類)	3020	1			
会計年度任用 (719143・4類)	0				
合計コスト①+②	107,423				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 観光プロモーション課

事務事業名	国際観光都市推進事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	国際観光都市推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本市を訪れる外国人旅行者を増やすため、プロモーションの実施および団体への負担金支出を行うもの。また、本市を訪れた外国人旅行者の消費・滞在を伸ばすため、受入環境の整備を行うもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 1 海外観光誘客宣伝事業
 - (1) 旅行博への出展
 - (2) 旅行記事や動画を活用した広告宣伝
 - (3) 旅行代理店等への営業活動
- 2 外国人観光客受入環境整備事業
 - (1) 外国人旅行者体験拡充事業
 - (2) 公衆無線LAN環境整備事業
 - (3) 無線LAN環境整備補助金の支出 6件
- 3 団体への負担金支出
 - (1) 日本アルプス観光連盟
 - (2) 国際観光振興機構
 - (3) 長野県国際観光推進協議会

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	拡充
・近年、インバウンド市場が拡大し、松本市においても外国人宿泊者数はコロナ禍前は5年間で174.2%と大きく伸びたが、渡航制限がかかったため大きく落ち込んでいる。 ・新型コロナウイルス収束後の集客回復のため、今のうちに松本市の認知度を向上させ、次の旅行先には選ばれるよう、海外プロモーションの継続が必要		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-4	変化する時代の観光戦略
5つの重点戦略		ポストコロナ戦略
予算要求区分		経常経費・政策的経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
主な取組み		○ 松本城や周辺区域の総合的整備(歴史観光エリア、セントラルパーク)

<指標の達成状況>

区分	総合評価		C		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	外国人観光客宿泊者数				
指標の設定理由	プロモーション、受入環境整備の結果であるため				
目標値	20,000	94,400	150,000	188,000	207,000
実績値	4,875				
達成度	24.4%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	19,913				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	19,913				
② 人件費(千円)	15,180	人工			
正規	15,180	2			
会計年度任用(7月31日、10月31日、12月31日)	0				
会計年度任用(1月1日～3月31日)	0				
合計コスト①+②	35,093				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 観光プロモーション課

事務事業名	観光戦略推進事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	観光戦略推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

「観光ビジョン」により、観光客誘致促進や滞在型観光を推進するため、アクションプランの実施や 観光大使を活用したプロモーションなど、効果的な観光施策の展開するもの。
また、公式観光情報ポータルサイト「新まつもと物語」による情報発信強化により、誘客促進を図るもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 松本市観光大使の活動支援
「松本市が有する観光資源を広く周知し、誘客促進を図る」という任命趣旨に基づく活動を支援するもの。(PR用品の購入及び名刺印刷代)
(1) 角田 識之(経営コンサルタント)
(2) 赤司 龍之祐(RKB毎日放送ラジオ局プロデューサー)
(3) FDA11号機(飛行機)
(4) 松本山雅FC(プロサッカーチーム)
(5) 秋本 奈緒美(女優)
(6) 上田 文雄(弁護士、前札幌市長)
(7) 鈴木 ともこ(マンガ家、エッセイスト)
- 公式観光ホームページ情報発信事業
本市を訪れる観光客にとって必要な情報を、民間や行政の区別なく総合的に幅広く提供するとともに、タイムリーな情報を継続かつ効果的に発信するもの。また、外国人旅行者向けに8カ国語(英語、韓国語、中文繁体字、中文簡体字、ロシア語、フランス語、ドイツ語、タイ語)に対応している。
- 松本市観光消費促進事業
新型コロナウイルスの影響により、落ち込んだ観光需要を回復させるため、2万人を対象に市独自の宿泊割引(3,000円)およびデジタルクーポン(2,000円分)を配布するもの。

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に観光データの調査・分析を行い、分析結果に基づいた検討を行い、次期ビジョンを策定する必要がある。 個人旅行の需要拡大に伴い、SNS等を活用した情報発信が重要である。 各観光大使の活動を通して、それぞれの分野を生かした松本の魅力を発信する。 公式観光情報サイト「新まつもと物語」を活用し、より魅力のある情報発信を行う。 		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-4	変化する時代の観光戦略
5つの重点戦略		ポストコロナ戦略
予算要求区分		経常経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	—
主な取組み		—

<指標の達成状況>

区分	総合評価		A		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	誘客促進活動や情報発信の結果であるため				
目標値	3,000,000	3,985,000	4,980,000	5,220,000	5,470,000
実績値	2,628,196				
達成度	87.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	116,643				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	116,643				
② 人件費(千円)	11,385	人工			
正規	11,385	1.5			
会計年度任用 (7/19/15、16-19/161・2類)	0				
会計年度任用 (16-19/153・4類)	0				
合計コスト①+②	128,028				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 観光プロモーション課

事務事業名	観光施設営繕事業
-------	----------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-4	変化する時代の観光戦略	市長公約	公約	3 産業・経済
5つの重点戦略	-		主な取組み	○ 北アルプスや美ヶ原を結ぶ観光インフラや交通アクセスの整備	
予算要求区分	経常経費・政策的経費				

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	観光施設営繕費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市内の所管観光施設の修繕、営繕工事を行い、利用者が安全に安心して利用できるよう施設等の維持管理を行う。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	市内の所管施設等の維持管理や遊歩道の倒木撤去等の整備工事を行うもの
2 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> (1) 需用費(公衆トイレ清掃用具など) (2) 修繕 <ul style="list-style-type: none"> ア ふれあい山辺館等の修繕 イ 三城いこいの広場、美鈴湖トイレ、梓川公衆トイレ等の修繕 ウ 松本市観光案内所等の修繕 など (3) 営繕工事 <ul style="list-style-type: none"> ア 登山道、遊歩道等補修工事 イ 波田観光案内所解体工事 ウ 美ヶ原温泉アスレチック解体工事 エ 松香寮パッケージ型消火設備新設工事 オ 美ヶ原温泉テニスコートサイドライン補修工事 カ 竜島温泉施設浴室シャワー水栓取替工事 キ 浅間温泉会館竹垣作製工事 ク 梓水苑防火シャッター危険防止装置取付工事 ケ ふれあい山辺館照明LED化工事 など

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
施設等については、管理者や指定管理者とともに維持管理に注意しており、今後も施設利用者が安全に施設利用できるよう、施設の維持管理を継続していきたい。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	施設の維持管理による利用者の来訪を測れるため				
目標値	3,000,000	3,985,000	4,980,000	5,220,000	5,470,000
実績値	2,628,196				
達成度	87.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	24,275				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	24,275				
② 人件費(千円)	7,590	人工			
正規	7,590	1			
会計年度任用 (2024年度任用 (2024年度任用))	0				
会計年度任用 (2025年度任用 (2025年度任用))	0				
合計コスト①+②	31,865				

事務事業評価票

部局名 | 文化観光部 | 課名 | 観光プロモーション課

事務事業名	山岳観光施設整備事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	山岳観光施設整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

山岳地域の遊歩道や登山道等の維持管理等を行うもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
(1) 美ヶ原高原ロングトレイルのPR 四賀の金山町、美ヶ原、鉢伏山から牛伏寺砂防ダムに至る約4.5kmの遊歩道及び登山道を「美ヶ原高原ロングトレイル」と称し、東山一帯の魅力ある豊かな自然を楽しんでもらうため、各コースの踏破証を発行するなど周知し、誘客促進を行うもの
(2) 遊歩道、登山道の整備
ア 遊歩道等整備のための消耗品費(トラロープなど)
イ 国有林内の遊歩道等の借上料
ウ 遊歩道等の整備管理委託料
(ア) 美ヶ原ロングトレイル
(イ) 美鈴湖自転車ロード
(ウ) 金松寺山登山道 など
2 活動実績
(1) 美ヶ原高原ロングトレイルガイドブックの販売、コース踏破証の発行
(2) 美ヶ原高原ロングトレイル整備業務委託(委託先:松本広域森林組合)
(3) 美鈴湖自転車ロード維持管理業務委託(委託先:榊柳澤林業)
(4) 金松寺山・天狗岩登山道整備業務委託(委託先:松本広域森林組合) など

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
遊歩道等の整備については、委託業者や関係者等とともに都度対応しており、今後も施設利用者が安全に施設利用できるよう、登山道等の維持管理を継続していきたい。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-5	世界に冠たる山岳リゾートの実現
5つの重点戦略	-	
予算要求区分	経常経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
主な取組み	○ 北アルプスや美ヶ原を結び観光インフラや交通アクセスの整備	

<指標の達成状況>

区分	総合評価		A		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松本市主要観光地入込者数				
指標の設定理由	遊歩道や登山道の整備による利用者の来訪を数値で測れるため				
目標値	3,000,000	3,985,000	4,980,000	5,220,000	5,470,000
実績値	2,628,196				
達成度	87.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	5,444				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,444				
② 人件費(千円)	7,133	人工			
正規	6,831	0.9			
会計年度任用 (〇〇〇〇〇、〇〇-〇〇〇〇〇〇-2類)	302	0.1			
会計年度任用 (〇〇-〇〇〇〇〇〇-4類)	0				
合計コスト①+②	12,577				

事務事業評価票

事務事業名	東山地域観光施設事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	東山地域観光施設事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

東山地域の観光誘客を図るため、各種パンフレットの印刷及び観光施設等の維持管理を行うもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
(1) 美ヶ原高原登山道及び市内各所遊歩道等の維持管理
(2) 美鈴湖、美ヶ原温泉駐車場、思い出の丘公衆トイレ維持管理
(3) 観光施設土地賃貸借契約業務
(4) ロングトレイル、遊歩道等の観光マップ作成業務
(5) 観光施設維持管理業務
(6) 各種協会等負担金支払い事務 など
2 活動実績
(1) 美ヶ原・鉢伏登山道遊歩道維持管理委託
(2) 美鈴湖、思い出の丘公衆便所清掃委託、美鈴湖公衆便所汲み取り委託
(3) 三城いこいの広場、美ヶ原思い出の丘、美ヶ原温泉地域土地借上事務
(4) 遊歩道マップ、美ヶ原高原ロングトレイルマップ作成
(5) 三城いこいの広場、美ヶ原温泉駐車場・テニスコート管理委託
(6) 美ヶ原自然保護センター管理運営委託
(7) 日本温泉協会、松塩筑安曇野温泉協会、浅間温泉事業協同組合負担金 など

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
指定管理者や委託業者とともに運営や維持管理を行っている。今後も施設利用者が安全に施設利用できるよう、美ヶ原ロングトレイルマップ等を作成するとともに、施設の維持管理を継続していきたい。		

部局名 | 文化観光部 | 課名 | 観光プロモーション課

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-5	世界に冠たる山岳リゾートの実現	市長公約	公約	3 産業・経済
5つの重点戦略	-		主な取組み	○ 北アルプスや美ヶ原を結ぶ観光インフラや交通アクセスの整備	
予算要求区分	経常経費・政策的経費				

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	美ヶ原高原入込数				
指標の設定理由	進捗状況が測れるため				
目標値	350,000	450,000	500,000	520,000	550,000
実績値	300,600				
達成度	85.9%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	26,419				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	26,419				
② 人件費(千円)	7,590	人工			
正規	7,590	1			
会計年度任用 (〇〇〇〇〇、〇〇-〇〇〇〇〇〇-2類)	0				
会計年度任用 (〇〇-〇〇〇〇〇〇-4類)	0				
合計コスト①+②	34,009				

文化振興課

課長	村山	育朗
課長	山岸	尚志

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 文化振興課

事務事業名	文化振興推進事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	文化振興推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

R3~R12

松本市の文化芸術の振興及びそのために必要な機能向上を図るための事業等を実施するもの
市民との協働による文化の醸成を図り、市民の文化芸術活動への参画・協力の機会を増やすために協力するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容 松本市文化芸術推進基本計画に基づく施策を推進し、松本市の文化芸術振興を図るもの（計画期間R3~R12）
2 活動実績 (1) 松本市文化芸術推進基本計画の策定 文化芸術基本法に基づき、R3年9月に策定 (2) 文化芸術表彰 功労賞2件、奨励賞1件 文化芸術活動において顕著な成果を取めた個人・団体及び地域の文化芸術振興に貢献した個人・団体を表彰するもの (3) 各種競技会・発表会出場者祝金交付(28件/年交付) 各種競技会・発表会等に出場する市民に対し、祝金を交付するもの (4) まつもと演劇祭補助金交付(コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 市内で活躍する演劇団体の演劇祭に対して補助するもの (5) アーティストバンクまつもと 松本市にゆかりのあるアーティストを掘り起こし、情報を集めて公開登録アーティスト数85団体・個人 (6) (一財)松本市芸術文化振興財団事務局事務 松本市芸術文化振興財団の運営に係る業務の一部委託

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
松本市文化芸術推進基本計画を令和3年9月に策定し、計画に基づく施策の展開を実施する。計画では、他分野の連携により、課題解決や地域の活性化につなげることであり、庁内での連携が必須としており、令和4年度以降、計画に掲げる重点施策を中心に事業化に向けた協議を重ねていきたい。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進
5つの重点戦略	—
予算要求区分	経常経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
主な取組み		○ クリエイティブ産業の育成、推進

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	文化施設の来館者及び事業参加者数				
指標の設定理由	文化芸術に関わった実績を表す指標であるため				
目標値	149,100	194,325	239,550	284,775	330,000
実績値	220,124				
達成度	147.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	51,120				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	51,120				
② 人件費(千円)	14,568	人工			
正規	13,662	1.8			
会計年度任用 (Ⅱ-17416、Ⅱ-17417-2類)	906	0.3			
会計年度任用 (Ⅱ-17416-3、4類)	0				
合計コスト①+②	65,688				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 文化振興課

事務事業名	市民との協働による舞台芸術イベントの開催
-------	----------------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進	市長公約	公約	3 産業・経済
5つの重点戦略	—	市長公約	主な取組み	○ クリエイティブ産業の育成、推進
予算要求区分	経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	文化振興推進費

<事業の狙い>

事業計画年度 H20 ~

隔年開催の「信州・まつもと大歌舞伎」市民活動事業について、市民との協働による文化の醸成を図るとともに、「市民の文化芸術活動への参画・協力」の機会を増やすための事業へ協力するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	隔年開催の「信州・まつもと大歌舞伎」市民活動事業について、市民との協働による文化の醸成を図るとともに、「市民の文化芸術活動への参画・協力」の機会を増やすための事業へ協力するもの
2 活動実績	第7回信州・まつもと大歌舞伎の関連事業や、ボランティアをはじめとする市民主体の公演運営等活動について、経費の一部を負担するもの
※ 第7回信州・まつもと大歌舞伎	
1 演目	夏祭浪花鑑(なつまつり なにわかがみ)
2 日程	令和3年6月17日(木)~22日(火) 6日間 7公演
3 会場	まつもと市民芸術館 主ホール
4 主催	まつもと歌舞伎実行委員会(会長:井上保 松本商工会議所会頭)
5 関連事業	
(1) 市民サポーター(登録者数:270人)	
(2) 振り返り事業(これまでを振り返りとして、写真展及び冊子・映像を制作)	
(3) まちの賑わい創出 (PR広告、街灯フラッグ、各商店へ自立型ポップ・ミニはんでん調バナー)	
(4) 縁日横丁の設置	
(5) 「筋書き」の作成・販売	
(6) Web広報、事業報告書の作成	

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
幅広い世代が文化芸術に親しめるとともに効率的に街なかの賑わいを創出するようイベント内容を検討する。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	公演鑑賞者数及び関連事業来場者数				
指標の設定理由	文化芸術に関わった実績を表す指標であるため				
目標値	9,040人				
実績値	8,679人				
達成度	96.0%				
② 成果指標(指標名)	「市民サポーター」登録者数				
指標の設定理由	文化芸術に関わった実績を表す指標であるため				
目標値	330人				
実績値	270人				
達成度	81.8%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	10,000				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,000				
② 人件費(千円)	9,108	人工			
正規	9,108	1.2			
会計年度任用 (H29年度、H30年度)	0				
会計年度任用 (H31年度)	0				
合計コスト①+②	19,108				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 文化振興課

事務事業名	まつもと市民芸術館事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

まつもと市民芸術館開館当初からの管理運営方針に従い、松本市民に世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場を提供するとともに、市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場、市民の交流の場となるよう事業を推進するもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容

まつもと市民芸術館を、貸館としての機能だけでなく、総監督である串田和美氏のもとクリエイション作品を提供するなどの自主事業を実施し、市民に質の高い芸術作品を提供している。

2 活動実績

まつもと市民芸術館自主事業実績				
年度	事業数	公演回数	集客数(人)	備考
H29年	37	102	103,285	実績
H30年	35	133	45,809	実績
R元年	34	111	97,174	実績
R2年	22	80	25,132	実績
R3年	27	110	42,110	実績

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	拡充
「まつもと市民芸術館のこれからを考える専門家会議」の提言要旨に沿って検討を進める。		
1 芸術監督制は継続すべきであること		
2 次代を担う子どもたちのために必要とされる劇場とすること		
3 スタッフの充実を図ること 4 市民をパートナーとして協働をすすめること		
5 芸術文化に携わる者を養成すること		
6 芸術文化に必要な予算を確保すること		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進
5つの重点戦略	—
予算要求区分	政策的経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
市長公約	主な取組み	○ クリエイティブ産業の育成、推進

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	文化施設の来館者数及び事業参加者数				
指標の設定理由	文化芸術に関わった実績を表す指標であるため				
目標値	92,000	124,000	156,000	188,000	220,000
実績値	162,593				
達成度	176.7%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	100,000				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	100,000				
② 人件費(千円)	1,518	人工			
正規	1,518	0.2			
会計年度任用(Ⅱ-1イ、Ⅱ-1ロ、Ⅱ-1ハ1-2類)	0				
会計年度任用(Ⅱ-1イ、Ⅱ-1ハ3-4類)	0				
合計コスト①+②	101,518				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 文化振興課

事務事業名	松本城世界遺産推進事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本城世界遺産推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H13~R12

国宝松本城を保護・保存し、次世代へ継承するために、松本城の世界文化遺産登録を目指す過程で、登録の前提となる国内の「世界文化遺産暫定一覧表」記載に必要な調査研究及び市民への普及啓発を実施するもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容

- (1) 松本城世界遺産調査研究事業
 - ア 文化庁の審議結果に係る課題を解決するための調査研究事業
 - イ 姫路城を含む国宝5城「近世城郭の天守群」のシリアル・ノミネーション(連続する資産)での登録へ向けた関係区市等との連携推進
 - (2) 松本城世界遺産普及啓発事業

「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会における、市民と行政等の協働による普及啓発事業を実施し、松本城の現状や世界遺産登録に向けた取組み等について、市民へ広く周知する。

2 活動実績

- (1) 松本城世界遺産調査研究事業
 - ア 近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会 4回
 - イ (仮称)松本城世界遺産調査研究に係る連絡会議 3回
- (2) 松本城世界遺産普及啓発事業

市内町会等のポスター掲出 711か所、パネル展示172名、若者を対象とした学習会 54名、絵画コンクール 198点、出張学習会 25名、松本城検定クイズ 244名、「わたしが決める「松本城の日」」101件、35地区普及啓発事業 17名、3市市民交流事業 11名、親子探検ツアー 37名、書籍『松本城のすべて世界遺産登録を目指して』300部、「松本城の日」全面広告 及び SBC信越放送ラジオ「もっとまつもと！」など

現状に対する認識 今後の方向性: 拡充

「世界文化遺産暫定一覧表」の見直しに向けて、文化庁が動き出している。こうした状況であることから、松本城の世界遺産登録を目指し、更なる調査研究及び市民への普及啓発など活動を広げていく。

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-2	歴史・文化遺産の継承
5つの重点戦略	—	
予算要求区分	政策的経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
主な取組み	○ 松本城や周辺区域の総合的整備(歴史観光エリア、セントラルパーク)	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	世界遺産推進事業に参加した人数(累計)				
指標の設定理由	世界遺産登録に向けた事業に参加した人数で市民の広がりを把握するため				
目標値	11,000	13,000	15,000	17,000	19,000
実績値	14,694				
達成度	133.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	4,980				
国・県					
利用者負担金					
その他	4,980				
一般財源					
② 人件費(千円)	15,180	人工			
正規	15,180	2			
会計年度任用(7月1日、10月1日、2月1日)	0				
会計年度任用(10月1日、3月1日)	0				
合計コスト①+②	20,160				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 文化振興課

事務事業名	音楽文化ホール管理運営事業
-------	---------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進	市長公約	3 産業・経済
5つの重点戦略	—	主な取組み	○ クリエイティブ産業の育成、推進
予算要求区分	経常経費		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	音楽文化ホール管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

クラシックを主とした音楽文化の振興と福祉の増進を図るため、音楽文化ホールの適正な管理運営を図る。
また、施設の維持管理に係り、中長期的な視点から施設・設備の延命を図り、利用者の安全性及び利便性の確保を図るための事業を実施する。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	クラシックを主とした音楽文化の振興と福祉の増進を図るため、音楽文化ホールの適正な管理運営を図る。 また、施設の維持管理に係り、中長期的な視点から施設・設備の延命を図り、利用者の安全性及び利便性の確保を図るための事業を実施する。
2 活動実績	(1) 音楽文化ホール運営委員会(※) 音楽文化ホールの適正な運営について協議。令和3年度も令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面決議とした。 ※ホールの適正な運営を図るため、運営委員会を設置、学校教育関係者、音楽文化団体関係者の代表、経済団体及び社会事業団体関係者の代表、学識経験者等10名で構成 (2) 管理運営 施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、(一財)松本市芸術文化振興財団を指定管理者とする。 (3) 施設改修 安全性・利便性確保のため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行うもの ア 樹木剪定 イ 工事 自動火災報知設備受信機交換、冷温水発生機配管Y字ストレーナー更新、Wi-Fi設備設置 ウ 修繕 メインホール ケーブルリール更新、小ホール ロールバックチェア部品交換

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・松本市の音楽文化の振興と福祉の増進を図るため、今後も音楽文化ホールの適正な管理運営を図る。 ・施設の維持管理に係り、中長期的な視点から施設・設備の延命を図り、利用者の安全性及び利便性の確保を図るための事業を実施する。		

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	音楽文化ホール来館者数及び事業参加者数				
指標の設定理由	文化芸術に関わった実績を表す指標であるため				
目標値	45,000人	56,500人	68,000人	79,500人	91,000人
実績値	28,130人				
達成度	62.5%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	100,280				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	100,280				
② 人件費(千円)	7,590	人工			
正規	7,590	1			
会計年度任用(7月1日、10月1日、2月1日)	0				
会計年度任用(10月1日、3月1日)	0				
合計コスト①+②	107,870				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 文化振興課

事務事業名	鈴木鎮一記念館管理事業
-------	-------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	鈴木鎮一記念館管理費

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進
5つの重点戦略	—
予算要求区分	経常経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
主な取組み		○ クリエイティブ産業の育成、推進

<事業の狙い>

事業計画年度

才能教育運動の創始者である、鈴木鎮一氏の住居の保及び関連資料を展示公開し、広く市民等に周知することで、文化芸術意識の広報を図る。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 実施内容
才能教育運動の創始者である、鈴木鎮一氏の住居の保及び関連資料を展示公開し、広く市民等に周知することで、文化芸術意識の広報を図る。
- 活動実績
 - 管理運営
施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、公益社団法人才能教育研究会を指定管理者とする。
 - 施設改修
施設の安全性・利便性確保のため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行う
ア 樹木剪定
 - 指定管理者による主な事業
ア 鈴木鎮一記念館コンサート
令和3年度も令和2年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
イ 歌声サロン
令和3年度も令和2年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
※ 事業の開催については、「広報まつもと」で周知

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
才能教育運動の創始者である、鈴木鎮一氏の住居の保存及び関連資料を展示公開し、広く市民等に周知することで、今後も文化芸術意識の広報を図る。 ・スズキメソッド発祥の地であるため、楽都松本として、保存活用の方法を検討していく。		

<指標の達成状況>

区分	総合評価		E				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
① 成果指標(指標名)	鈴木鎮一記念館来館者数及び事業参加者数						
指標の設定理由	文化芸術に関わった実績を表す指標であるため						
目標値	2,800人	3,100人	3,400人	3,700人	4,000人		
実績値	553人						
達成度	19.8%						
② 成果指標(指標名)							
指標の設定理由							
目標値							
実績値							
達成度							

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	3,270				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	3,270				
② 人件費(千円)	759	人工			
正規	759	0.1			
会計年度任用(ワカ16、ワカ17(1・2類))	0				
会計年度任用(ワカ17(3・4類))	0				
合計コスト①+②	4,029				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 文化振興課

事務事業名	波田文化センター管理運営事業
-------	----------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進	市長公約	公約	3 産業・経済
5つの重点戦略	—	市長公約	主な取組み	○ クリエイティブ産業の育成、推進
予算要求区分	経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	波田文化センター管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

西部地域の文化芸術活動の拠点施設として、市民の文化芸術の振興と福祉の増進を図るため、波田文化センターの適正な維持及び管理運営を行う。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容

西部地域の文化芸術活動の拠点施設として、市民の文化芸術の振興と福祉の増進を図るため、波田文化センターの適正な維持及び管理運営を行う。

2 活動実績

(1) 管理運営

施設の適正な管理運営と、市民に多様な文化芸術を提供するため、(一財)松本市芸術文化振興財団を指定管理者とする。

(2) 施設改修

施設の安全性・利便性確保のため、施設設備等の経年劣化及び老朽化に対し、計画的に修繕を行う。

ア 工事 内壁改修、男女トイレ手洗い改修、Wi-Fi設備設置、親時計改修

イ 修繕 男子トイレ小便器交換

(3) 指定管理者による主な事業

ア はた映画上映会

イ オトノイロ(プロ及びアマチュアによるコンサート)

ウ ピアノカーニバル

エ 来て、観て、笑って、弾いてみて、ベーゼンドルファー

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・松本市の音楽文化の振興と福祉の増進を図るため、今後も波田文化センターの適正な管理運営を図る。 ・施設の維持管理に係り、中長期的な視点から施設・設備の延命を図り、利用者の安全性及び利便性の確保を図るための事業を実施する。		

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	波田文化センター来館者数及び事業参加者数				
指標の設定理由	文化芸術に関わった実績を表す指標であるため				
目標値	9,300人	10,725人	12,150人	13,575人	15,000人
実績値	6,067人				
達成度	65.2%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	47,750				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	47,750				
② 人件費(千円)	3,036	人工			
正規	3,036	0.4			
会計年度任用(Ⅱ-1イ、Ⅱ-1イ(1)・2類)	0				
会計年度任用(Ⅱ-1イ(2)・3・4類)	0				
合計コスト①+②	50,786				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 文化振興課

事務事業名	まつもと市民芸術館管理運営事業
-------	-----------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進	市長公約	公約	3 産業・経済
5つの重点戦略	—	市長公約	主な取組み	○ クリエイティブ産業の育成、推進
予算要求区分	政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	まつもと市民芸術館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

まつもと市民芸術館開館当初からの管理運営方針に従い、松本市民に世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場を提供するとともに、市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場、市民の交流の場となるよう事業を推進します。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容

施設の適正な管理運営を行い、市民に多様な文化芸術を提供するため、効率的な運用ができるよう指定管理制度を導入しています。

指定管理者：一般財団法人 松本市芸術文化振興財団

指定管理期間：H30.4.1～R5.3.31(5年間)

2 活動実績

年度	主ホール	小ホール	スタジオ・会議室	その他	計
H29年	138,038	21,044	20,775	87,219	267,076
H30年	84,595	22,208	16,289	76,801	199,893
R元年	125,555	15,484	19,866	95,749	256,654
R2年	24,739	7,082	9,556	30,342	71,719
R3年	86,457	11,641	9,124	55,371	162,593

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性：	拡充
「まつもと市民芸術館のこれからを考える専門家会議」の提言要旨に沿って検討を進める。		
1 芸術監督制は継続すべきであること		
2 次代を担う子どもたちのために必要とされる劇場とすること		
3 スタッフの充実を図ること 4 市民をパートナーとして協働をすすめること		
5 芸術文化に携わる者を養成すること		
6 芸術文化に必要な予算を確保すること		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	文化施設の来館者数及び事業参加者数				
指標の設定理由	文化芸術に関わった実績を表す指標であるため				
目標値	92,000	124,000	156,000	188,000	220,000
実績値	162,593				
達成度	176.7%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	469,460				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	469,460				
② 人件費(千円)	6,072	人工			
正規	6,072	0.8			
会計年度任用(Ⅰ-1イ、Ⅰ-1イ(1)2類)	0				
会計年度任用(Ⅰ-1イ(1)3-4類)	0				
合計コスト①+②	475,532				

国際音楽祭推進課

課長 松林 典泰

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 国際音楽祭推進課

事務事業名	文化振興推進事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	文化振興推進費

<事業の狙い>

事業計画年度

H29 ~

市民による企画・運営により、文化芸術活動をより身近なものにし、また同時に活動者の励みや生きがいを創出する。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
 楽都・まつもとライブ
 地域に縁のある音楽団体等によるストリートライブの開催及びライブの後日配信

2 活動実績
 【令和3年度実績】(R4.3.31現在)
 ストリートライブ開催回数12回 出演者数 83人 延観客数5,080人

Web配信 配信コンテンツ数 23本 視聴回数 6,280回
 配信媒体:Facebook、Instagram、YouTube

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
・クラシック音楽に限らない楽都松本の魅力を市民とともに発信している。 ・市民や松本を訪れた方が気軽に音楽を楽しむ機会を提供するため、継続的な事業展開が必要 ・他課の事業との連携を強化する。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進
5つの重点戦略	—
予算要求区分	政策的経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
主な取組み		○ クリエイティブ産業の育成、推進

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	楽都・まつもとライブ来場者数及びwebライブ再生数				
指標の設定理由	ライブを通して音楽に触れた人数のため				
目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
実績値	11,360				
達成度	94.7%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	370				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	370				
② 人件費(千円)	5,158	人工			
正規	4,554	0.6			
会計年度任用 (I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII・IX・X・XI・XII類)	604	0.2			
会計年度任用 (I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII・IX・X・XI・XII類)	0				
合計コスト①+②	5,528				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 国際音楽祭推進課

事務事業名	国際音楽祭推進事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	国際音楽祭事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H4 ~

サイトウ・キネン・オーケストラによる世界最高水準の音楽祭を共催するとともに、フェスティバルを支援する市独自の関連事業を実施することで、交響管弦楽及びオペラ等音楽的総合舞台芸術の普及振興、次世代若手音楽家の育成、義務教育世代への音楽情操教育の支援、地域の活性化、文化芸術に触れる機会の創出に寄与する。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容
新型コロナウイルス感染症の影響により、全公演の開催及び一部関連事業が中止となった
(1) セイジ・オザワ 松本フェスティバル 公演中止の代替事業として、開催予定であったプログラムのうちオーケストラコンサートBプログラムを無観客収録し全世界へ無料配信
(2) 支援事業・関連事業
ア 歓迎・装飾事業(歓迎フラッグの掲出、歓迎ディスプレイの設置)
イ 広報・宣伝事業(広告掲載、ポスター・リーフレット等の作成・配布)
ウ 環境整備事業(会場及び会場周辺の花装飾、告知看板等製作設置等)
エ 関連イベント事業(フェスティバル展、歓迎演奏会「お城deハーモニー」等)
2 活動実績
(1) オーケストラコンサートBプログラム YouTube配信
ア 配信実施日 2021年9月3日、5日(2日間の限定配信)
イ 視聴者数 延べ約12万人(最大同時視聴者数:約1万8千人) ※日本も含め29か国からアクセス
(2) フェスティバル展
市内3会場での2019年フェスティバルの写真パネル等展示 [キッセイ文化ホール、八十二銀行ギャラリー、MIDORI松本店]
(3) 歓迎演奏会「お城deハーモニー」 鑑賞者数:350人
(4) ウェルカムストリートライブ 鑑賞者数:500人

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
1992年のフェスティバル開幕以来、楽都・松本の象徴として西洋音楽を松本の地から世界に向け発信し続け、これまでの鑑賞者数は関連事業も含め延べ200万人を超える。(2020・2021年は新型コロナウイルス感染症の影響により公演中止)ポストコロナ時代、適切な感染対策を図りつつ文化・芸術が楽しめる環境を整え、心豊かな社会の実現及びまちの賑わい創出を目指すため、今年で30周年を迎える「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」を今後も引き続き支援するとともに、開催都市として関連事業の一層の充実に努める。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進
5つの重点戦略	—
予算要求区分	政策的経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
主な取組み		○ クリエイティブ産業の育成、推進

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	OMFを鑑賞して、自分も音楽などの文化・芸術活動をやってみたいと思った人の割合				
指標の設定理由	松本市総合計画(第11次基本計画)の成果指標				
目標値	63.1	64.9	66.6	68.3	70.0
実績値	—				
達成度	—				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	170,604				
国・県	16,178				
利用者負担金					
その他					
一般財源	154,426				
② 人件費(千円)	23,652	人工			
正規	18,216	2.4			
会計年度任用(7月1日、10月1日、12月1日)	5,436	1.8			
会計年度任用(1月1日、4月1日)	0				
合計コスト①+②	194,256				

松本城管理課

課長 勝山 裕美

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 松本城管理課

事務事業名	危機管理防災対応事業
-------	------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-2	歴史・文化遺産の継承	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	危機管理防災対応事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

災害の発生に備え、観光客や市民の安全を確保するとともに、史跡・国宝として指定されている松本城の文化財的価値の被害軽減に取り組むもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	防災設備等の保守点検
2 活動実績	(1) 天守及び管理事務所等の防災ネットワークの保守点検(年1回) (2) 天守の電気設備の点検(年1回)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
防災機器の保守点検は必要不可欠であるため、今後も継続して実施していく。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	点検の実施回数				
指標の設定理由	危機管理対策を把握するため				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	938				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	938				
② 人件費(千円)	1,820	人工			
正規	1,518	0.2			
会計年度任用 (Ⅰ-174141-2類)	302	0.1			
会計年度任用 (Ⅰ-174143-4類)	0				
合計コスト①+②	2,758				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 松本城管理課

事務事業名	各種行事運営事業
-------	----------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-4	変化する時代の観光戦略	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		ポストコロナ戦略	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	各種行事運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本城を中心に各種行事を行い、市民や観光客等の誘客を図り、中心市街地に経済的な好循環を生み出すとともに、松本城への親しみを高め、世界遺産登録へ向けた機運等を醸成する。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	松本城本丸庭園及び松本城公園を主会場とする各種行事
2 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月 国宝松本城夜桜会(演奏・飲食は中止) 26,772人 ・ 5月 市制記念日に伴う天守・本丸庭園無料開放 5,954人 ・ 7月 国宝松本城太鼓まつり 約1,500人 (さわやか信州松本フェスティバル実行委員会主催:事業協力) ・ 8月 国宝松本城新能 約600人 ・ 11月 お城まつり 約36,300人 (菊花展、古式砲術演武、奉射弓道大会、おもてなし隊大集合) ・ 12月～2月 国宝松本城イルミネーション 約118,000人 (さわやか信州松本フェスティバル実行委員会主催:事業協力) ・ 1月 国宝松本城新春祝賀特別公開 12,045人 国宝松本城氷彫フェスティバル 約20,000人 (さわやか信州松本フェスティバル実行委員会主催:事業協力) ・ 2月 国宝松本城 天守夜間特別観覧(天守ナイトツアー) 276人

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
令和3年度は合同茶会やそば祭りなど新型コロナウイルスの影響を受けて中止となった事業がある反面、松本城イルミネーションや天守ナイトツアーなど、コロナ禍でも実施でき、一定の集客効果があったものもある。 ポストコロナの時代を見据えた行事のあり方を検討しながら、内容の見直しを常に図り、今後も継続して実施していく。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	参加人数				
指標の設定理由	行事来場者数で効果が測定できるため				
目標値	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
実績値	221,447				
達成度	110.7%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	15,611				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	15,611				
② 人件費(千円)	12,593	人工			
正規	11,385	1.5			
会計年度任用(Ⅱ-1イ①、Ⅱ-1イ②①①・2類)	1208	0.4			
会計年度任用(Ⅱ-1イ①③・4類)	0				
合計コスト①+②	28,204				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 松本城管理課

事務事業名	施設整備事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	施設整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

国宝松本城天守及び松本城公園の施設の適切な維持管理を行い、歴史的景観の維持と利用者環境の維持、保全に努める。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	天守等の漆塗り替え工事及び松本城公園内の施設整備
2 活動実績	(1) 天守及び黒門の漆塗り替え工事の実施 (2) 松本城公園・本丸庭園トイレのウォッシュレット・洋式化改修 27箇所

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
松本城の歴史的景観の維持と利用者環境の維持、保全は重要であるため、今後も適切な施設整備を計画的に実施していく。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-2	歴史・文化遺産の継承
5つの重点戦略	—	
予算要求区分	経常経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
主な取組み	○ 松本城や周辺区域の総合的整備(歴史観光エリア、セントラルパーク)	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松本城来場者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を把握できるため				
目標値	390,000	630,000	770,000	900,000	920,000
実績値	403,909				
達成度	103.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	18,870				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	18,870				
② 人件費(千円)	3,338	人工			
正規	3,036	0.4			
会計年度任用 (Ⅶ-17416、Ⅷ-174161-2類)	302	0.1			
会計年度任用 (Ⅷ-174163-4類)	0				
合計コスト①+②	22,208				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 松本城管理課

事務事業名	事務管理
-------	------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	事務管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

国宝松本城天守及び松本城公園の適正な管理と文化観光施設として観光誘客を図るための管理運営事務

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容 松本城の維持管理、天守公開、観覧運営等に係る事務経費
2 活動実績 需用費(観覧料印刷、消耗品)、委託料(駐車場管理、各種保守点検、警備、清掃等)、使用料、備品費、消費税等の支出

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で、観覧者数がコロナ前に比べ減少しているため、支出内容の見直しや経費の削減を図った。 松本城の保全、天守公開には必要な経費であるため、今後も継続して実施していく。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-2	歴史・文化遺産の継承	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松本城来場者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を把握できるため				
目標値	390,000	630,000	770,000	900,000	920,000
実績値	403,909				
達成度	103.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	71,235				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	71,235				
② 人件費(千円)	31,991	人工			
正規	9,867	1.3			
会計年度任用 (Ⅱ-17416、Ⅱ-17417・2類)	20234	6.7			
会計年度任用 (Ⅱ-17413・4類)	1890	1			
合計コスト①+②	103,226				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 松本城管理課

事務事業名	庭園・公園管理
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	庭園・公園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度 ~

文化観光施設として多くの市民・観光客が訪れる松本城本丸庭園と松本城公園の景観の保全管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 実施内容
本丸庭園・松本城公園の清掃、樹木の管理等
- 活動実績
 - 清掃業務委託 通年
 - 樹木総合管理(造園、除草、害虫駆除、樹勢回復等) 通年
 - 樹木冬囲い 12月1日~3月15日
 - 備品等の計画的整備 R3は芝刈機、テントのウェイトを購入

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
本丸庭園及び松本城公園は国の指定する史跡内にあり、天守を中心とした松本城を構成する重要な場所であるため、適切な管理が必要である。今後も環境美化、景観保全、樹木保全等を継続して実施していく。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-2	歴史・文化遺産の継承
5つの重点戦略	-	
予算要求区分	経常経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
主な取組み	○ 松本城や周辺区域の総合的整備(歴史観光エリア、セントラルパーク)	

<指標の達成状況>

区分	総合評価		A				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
① 成果指標(指標名)	松本城来場者数						
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を把握できるため						
目標値	390,000	630,000	770,000	900,000	920,000		
実績値	403,909						
達成度	103.6%						
② 成果指標(指標名)							
指標の設定理由							
目標値							
実績値							
達成度							

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	25,066				
国・県					
利用者負担金					
その他	12,532				
一般財源	12,534				
② 人件費(千円)	5,909	人工			
正規	3,795	0.5			
会計年度任用 (Ⅱ-1/Ⅱ-1、Ⅱ-1/Ⅱ-1(1-2)類)	2114	0.7			
会計年度任用 (Ⅱ-1/Ⅱ-1(3-4)類)	0				
合計コスト①+②	30,975				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 松本城管理課

事務事業名	天守管理
-------	------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	天守管理費

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-2	歴史・文化遺産の継承
5つの重点戦略		—
予算要求区分		経常経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	—
主な取組み		—

<事業の狙い>

事業計画年度

～

国宝松本城天守の公開及び保全管理と、天守耐震診断を踏まえた安全対策の強化を実施

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 1 実施内容
天守公開用の消耗品、屋根・内部等の特別清掃、入場者安全対策等を実施
- 2 活動実績
 - (1) 天守観覧用下足袋購入 500,000枚
 - (2) 天守誘導・案内業務委託
松本城天守内清掃、観覧者の誘導、案内、巡回管理を実施
 - (3) 天守屋根清掃業務 年1回
天守他4棟(乾小天守、渡櫓、辰巳附櫓、月見櫓)の屋根、壁及び石垣に付着する鳩糞の除去及び水洗い業務を実施
 - (4) 天守特別清掃 年1回
天守内の高所部分等、通常では困難な箇所の清掃を実施
 - (5) 天守内の安全対策
松本城天守の耐震診断結果による安全対策を実施
ア 耐震診断の結果、「最大規模の地震の場合は倒壊」と判断された乾小天守の公開規制実施
イ 観覧者の安全確保と避難誘導体制を強化するため、天守内に警備員(委託業者)をH29年8月から配置

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
松本城天守内における観覧者の案内、安全管理、避難誘導体制の確立及び城内清掃は重要な業務であるため、今後も継続して実施していく。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松本城来場者数				
指標の設定理由	松本城の来場者の状況を把握できるため				
目標値	390,000	630,000	770,000	900,000	920,000
実績値	403,909				
達成度	103.6%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	80,073				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	80,073				
② 人件費(千円)	1,518	人工			
正規	1,518	0.2			
会計年度任用(Ⅱ-174141-2類)	0				
会計年度任用(Ⅱ-174143-4類)	0				
合計コスト①+②	81,591				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 松本城管理課

事務事業名	売店管理運営
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	松本城特別会計
予算中事業名	売店管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本城を訪れたお客様に、旅の記念や土産品として、松本城の関連商品を販売することで、来訪の満足度を高め、旅の思い出づくり等に寄与するもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容	松本城本丸庭園内売店の管理運営
2 活動実績	松本城本丸庭園公開日に合わせて営業。年3回は棚卸しのため閉店する。 R3年度の営業日 349日

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
売店運営は、来場者サービスの上でも、また、松本城特別会計における貴重な財源としても必要なため継続して実施していく。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-4	変化する時代の観光戦略
5つの重点戦略	—	
予算要求区分	経常経費	

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	—
主な取組み		—

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	売店売上額				
指標の設定理由	売店の状況を測定できるため				
目標値	109,560	131,023	141,941	152,859	163,779
実績値	91,305				
達成度	83.3%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	57,868				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	57,868				
② 人件費(千円)	11,725	人工			
正規	3,795	0.5			
会計年度任用 (Ⅱ-1914、Ⅱ-1914(1-2)類)	6040	2			
会計年度任用 (Ⅱ-1914(3-4)類)	1890	1			
合計コスト①+②	69,593				

美術館

副館長 羽田野 昌司

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 美術館

事務事業名	美術館事業
-------	-------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の芸術文化の振興を図り、文化の薫り高い豊かな市民生活に資するため、美術館が目指す4つの柱(鑑賞・表現・学習・交流の場)を踏まえた事業を実施する。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 1 展覧会事業
令和3年度は、大規模改修工事による休館のため美術館での展覧会事業はなし。
- 2 草間彌生顕彰事業
美術館休館中、まちなかアートプロジェクトの一環として開催した「パルコde美術館」で《天国への梯子》、《大いなる巨大な南瓜》を公開。その他、野外彫刻《幻の華》のメンテナンス実施、リニューアルオープン後の拡大展示準備、パンフレット印刷等を行った。
- 3 教育普及事業
公民館連携講座、館外での美術講座、ワークショップを開催
実施数43 参加人数960人
- 4 保存管理事業
作品の保存管理や展示のため、修復・額装を行った。
〈修復・額装実績〉日本画等修復4点、額装270点

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
優れた芸術作品の鑑賞の機会を提供すること、地域に根ざす総合美術館として、鑑賞、表現、学習、交流という、美術館が目指す4つの柱に沿って事業を行う。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進	市長公約	公約	3 産業・経済
5つの重点戦略	人口定常化戦略	市長公約	主な取組み	○ クリエイティブ産業の育成、推進
予算要求区分	経常経費・政策的経費			

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	企画展の観覧者数(人)				
指標の設定理由	PRなど、市民等への周知が充分であるか測定できるため				
目標値	—	75,000	64,000	64,000	64,000
実績値	R3年度休館				
達成度	—				
② 成果指標(指標名)	講座等への参加者数(人)				
指標の設定理由	時代のニーズにあう講座が開催されたか測定できるため				
目標値	320	700	700	700	700
実績値	960				
達成度	300.0%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	36,312				
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	36,312				
② 人件費(千円)	43,990	人工			
正規	37,950	5			
会計年度任用 (Ⅱ-1741、Ⅱ-1741-2類)	6,040	2			
会計年度任用 (Ⅱ-1741-3、4類)	0				
合計コスト①+②	80,302				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 美術館

事務事業名	美術館大規模改修事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館大規模改修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H30~R3

市民の芸術文化の振興を図り、文化の薫り高い豊かな生活に資するため、美術館が目指す4つの柱(鑑賞・表現・学習・交流の場)を踏まえ、施設の改修を実施する。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 実施内容

平成14年4月の開館以来十数年を経過し、建物や設備機器の経年劣化が進み、作品の展示・保存に即した温湿度管理や照明の調整等が困難になってきたため、開館20周年を迎える令和4年の前年の令和3年度に1年間休館し大規模改修工事を行い、美術館としての機能を維持するとともに、来館者が快適に過ごせる閑居を提供するものです。

2 活動実績

令和3年4月1日から全館休館し、工事を施工(主体工事、電気設備工事、機械設備工事)

※参考

- 平成30年度 基本調査
- 令和元年度 基本設計
- 令和2年度 実施設計、入札、契約
- 令和3年度 全館休館、改修工事(令和4年3月11日竣工)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
----------	---------	----

次の20年に向けて、計画的なメンテナンスを行い、施設設備の長寿命化に努める必要がある。

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進
5つの重点戦略	—
予算要求区分	政策的経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	1,874,998				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,874,998				
② 人件費(千円)	0	人工			
正規	0				
会計年度任用 (H30年度任用)	0				
会計年度任用 (H1~H3年度任用)	0				
合計コスト①+②	1,874,998				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 美術館

事務事業名	美術館管理運営
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の芸術文化の振興を図り、文化の薫り高い豊かな生活に資するため、美術館が目指す4つの柱(鑑賞・表現・学習・交流の場)を踏まえた管理運営を実施する。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 1 指定管理内容
美術館の管理運営部門について、5年間(H29～R3)の特命指定として一般財団法人松本市芸術文化振興財団へ委託した。
- 施設運営に関する業務(受付・案内・監視業務、観覧料・使用料の徴収、ミュージアムショップの運営等)
 - 施設管理に関する業務(警備、施設・設備の保守維持管理、小規模修繕)
 - 経営管理業務
 - 自主事業(施設利用促進のための事業)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
令和3年度は大規模改修のため一年間休館だった。この間においても収蔵品の保存管理など、改修工事の進捗状況を踏まえた適切な管理運営に努めた。令和4年度のリニューアルオープンに向けて、これまで以上にホスピタリティの向上に力を注ぐとともに、松本市を代表する施設管理・運営を今後とも適正に行う必要がある。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-1 豊かさを育む文化芸術の推進
5つの重点戦略	人口定常化戦略
予算要求区分	経常経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	3 産業・経済
主な取組み		○ クリエイティブ産業の育成、推進

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	ギャラリーABの稼働率(%:利用日/利用可能日数)				
指標の設定理由	市民等の成果発表の場の利用状況を測定できるため				
目標値	—	90	90	90	90
実績値	R3年度休館				
達成度	—				
② 成果指標(指標名)	ミュージアムショップ売払収入(千円)				
指標の設定理由	運営の状況を直接的に測定できるもの				
目標値	—	56,900	56,900	56,900	56,900
実績値	R3年度休館				
達成度	—				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	90,694				
国・県					
利用者負担金	0				
その他					
一般財源	90,694				
② 人件費(千円)	22,770	人工			
正規	22,770	3			
会計年度任用(ワ・ク・ハ、ワ・ク・ハ1・2類)	0				
会計年度任用(ワ・ク・ハ3・4類)	0				
合計コスト①+②	113,464				

事務事業評価票

事務事業名	アカデミア館管理運営
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	美術館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の芸術文化の振興を図り、文化の薫り高い豊かな生活に資するため松本市西部地域の拠点として、市民の鑑賞・表現・学習・交流の場の創造を目指すもの。

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 指定管理内容
アカデミア館の運営について、5年間(H29～R3)の特命指定として一般財団法人松本市芸術文化振興財団へ委託した。
- 委託内容
 - 施設の事業に関する業務(展示、展覧会、資料の収集・保管・貸出)
 - 施設運営に関する業務(開館業務、観覧料・使用料の徴収、施設の貸出)
 - 施設管理に関する業務(警備、施設・設備の保守維持管理、清掃等)
 - 経営管理業務
 - 自主事業(施設の利用促進のための事業)
- 展覧会の開催
 - 主催展覧会 信州川賞展、河越虎之進作品展、小野真吾写真展
 - 貸館(ギャラリー)展示・コンサート等12件
 - アクセスギャラリー他無料スペースの展示等13件
 - 主催イベント ウィンターコンサート、ワークショップ17回
※新型コロナウイルス感染症の影響により10件の貸館が中止となった。

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
一般財団法人松本市芸術文化振興財団に運営を委託していることに伴い、美術館の附属施設として、一体的な管理のため、美術館と連携・協力しながら市の施策と一体性を保っている。 令和3年度は新型コロナウイルスによる影響はあったが、美術館が大規模改修で一年間休館だったため、年間9つのワークショップを実施し、教育普及事業の充実を図った。		

部局名	文化観光部	課名	美術館
-----	-------	----	-----

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-1	豊かさを育む文化芸術の推進	市長公約	公約	—
5つの重点戦略	人口定常化戦略		市長公約	主な取組み	—
予算要求区分	経常経費				

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	入館者数(人)				
指標の設定理由	入館者数により魅力ある館運営が実施されているか測定できるため				
目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
実績値	12,180				
達成度	60.9%				
② 成果指標(指標名)	梓川賞展への一般の部作品応募数(点:応募数)				
指標の設定理由	運営の状況を直接的に測定できるもの				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	86				
達成度	86.0%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	19,732	0	0	0	0
国・県					
利用者負担金	0				
その他					
一般財源	19,732				
② 人件費(千円)	1,518	人工 0	人工 0	人工 0	人工 0
正規	1,518	0.2	0	0	0
会計年度任用(〇〇〇〇〇、〇〇-〇〇〇〇〇〇-2類)	0	0	0	0	0
会計年度任用(〇〇-〇〇〇〇〇〇-4類)	0	0	0	0	0
合計コスト①+②	21,250	0	0	0	0

スポーツ推進課

課長 大島 良司

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 スポーツ推進課

事務事業名	プロスポーツ振興事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	プロスポーツ振興事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H27～R8

プロスポーツの集客力・求心力を活かし、「みるスポーツ」等による地域振興や、プロスポーツチームや各種競技団体による専門的な技術指導等の提供により、競技スポーツ人口の拡大に繋げるなど、プロスポーツを活用することで地域活性化の推進、スポーツ振興を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 松本山雅FC
 - ホームタウンデーの実施
ホームタウン4市2町3村合同により市の施策や観光・特産品をPR
 - 松本市・鹿児島市文化・観光交流都市デーの実施
鹿児島市と連携して市の施策や観光・特産品をPR
 - 中学部活動出前コーチングを明善中、菅野中、梓川中にて実施 67人参加 ※波田中はコロナにより未実施(令和4年度実施)
- 信濃グランセローズ
 - 中学部活動出前コーチングを女鳥羽中、清水中、会田中、鉢盛中にて実施 38人参加
 - 松本市野球場の優先使用
- 信州プレイブウォリアーズ
 - 中学部活動出前コーチングを清水中(山辺、清水)、信明中、筑摩野中(筑摩野、才教学園、松本国際)、明善中にて実施 197人参加
 - 松本市総合体育館の優先使用
- VC長野トライデンツ
 - 中学部活動出前コーチングを旭町中(女鳥羽、旭町、信大付属)、総合体育館(丸ノ内、鎌田、松島)、開成中にて実施 115人参加 ※信明中・高綱中はコロナにより未実施(令和4年度実施)
 - 松本市総合体育館の優先使用
 - ホームタウンパートナー協定を締結(10月15日)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
ホームゲーム等で市の施策や観光・特産品のPRを行うことで、効率的に多くの方にPR等を行うことが出来る。プロスポーツチームや各種競技団体による専門的な技術指導等の提供により、競技スポーツ人口の拡大に繋がる。 新型コロナウイルス感染症拡大防止により事業の縮小等があったが、関係団体と調整して実施することができた。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-3	スポーツを楽しむ環境の充実	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		人口定常化戦略	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		政策的経費			

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松本山雅FCホームタウンデー松本市ブース来場者数(人)				
指標の設定理由	来客数＝関心度＝成果				
目標値	1000	1500	2000		
実績値	1000				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	中学部活動出前コーチング事業アンケート結果平均値(5段階評価)				
指標の設定理由	参加者の満足度・チーム知名度＝成果				
目標値	3.0	3.5	4.0		
実績値	4.1				
達成度	100.0%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	4,560				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,560				
② 人件費(千円)	7,590	人工			
正規	7,590	1			
会計年度任用(Ⅰ-19141、Ⅰ-19141-2類)	0				
会計年度任用(Ⅰ-19143-4類)	0				
合計コスト①+②	12,150				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 スポーツ推進課

事務事業名	スポーツ振興事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	スポーツ振興事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的とするもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 市主催のスポーツ教室、イベント等の開催
 - 市内35地区対抗の市民体育大会秋季大会(中止)、春夏秋冬の競技別の市民体育大会(一部のみ開催)、市長杯争奪球技大会(一部のみ開催)(いずれも松本市スポーツ協会に委託)を開催した。(37種目延べ5,302人参加)
 - ファミリースポーツカーニバル(松本市スポーツ推進委員協議会に委託)を開催し、「体力測定」「ニュースポーツ体験」「スポーツ教室」「パラスポーツ」によりスポーツに触れる機会を提供(中止)
 - シニア健康教室、親子体操教室、ちよこっとライフアップタイム、エアロビクス教室を延べ78回開催した。(延べ1,905人参加)
- 市民スポーツ活動への支援
 - 総合体育館内のトレーニング室を延べ16,952人が利用した。
 - 全国大会出場祝金として各種競技会(ブロック大会以上)及び国体に出場する市民に対して祝金を交付した。(延べ47人に交付)
 - 新型コロナウイルス感染症拡大時、また、終息時の生涯スポーツの普及について、スポーツ推進員協議会で役員会(6回)、各部会(5回)で検討を重ねた。

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
市民が主体的、継続的に取り組むスポーツ活動を推進するため、各種教室の開催により延べ1,905人の参加があった。また、総合体育館のトレーニング室は、延べ16,952人の利用があった。今後もスポーツ振興事業を継続していくこととしています。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-3	スポーツを楽しむ環境の充実	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	市民がスポーツをしている割合(%)				
指標の設定理由	スポーツをしている市民の割合の増加に関わる指標であるため				
目標値	50	50	50	50	50
実績値	49.5				
達成度	99.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	15,180				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	15,180				
② 人件費(千円)	15,180	人工			
正規	15,180	2			
会計年度任用(7月1日～12月31日)	0				
会計年度任用(1月1日～6月30日)	0				
合計コスト①+②	30,360				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 スポーツ推進課

事務事業名	学校体育施設開放事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	学校体育施設開放事業費

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

基本施策名	7-3	スポーツを楽しむ環境の充実
5つの重点戦略		—
予算要求区分		経常経費

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

市長公約	公約	—
主な取組み		—

<事業の狙い>

事業計画年度

～

学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を計画的に開放し、社会体育の振興と市民の健康増進を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 施設利用環境の整備
社会体育の実施に必要な器具等を整備
- 学校開放事業を円滑に進めるための取り組み
学校施設の利用に関する調整会議や申請書のとりまとめ等を管理指導員に委託
- 受付事務
団体登録事務及び施設利用の徴収等
- 事業内容
 - 開放している小中学校 40校(利用のある学校)
 - 開放施設 グラウンド、体育館、柔剣道場、テニスコート、講堂
 - 開放時間
平日：午前5時～午前7時／午後6時30分～午後9時
土日祝：午前5時～午後9時 ※梓川地区は 午後10時まで
 - 延べ利用回数 29,157回
 - 登録団体数 355団体

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
学校教育課とスポーツ推進課で業務を分担して運用していますが、業務の一元化やインターネット予約の導入など、より利用しやすい環境整備を進めています。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	登録団体数				
指標の設定理由	スポーツをしている市民の割合の増加に関わる指標であるため				
目標値	350	360	360	360	360
実績値	355				
達成度	101.4%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	5,490				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,490				
② 人件費(千円)	7,590	人工			
正規	7,590	1			
会計年度任用(Ⅶ-174161-2類)	0				
会計年度任用(Ⅶ-174163-4類)	0				
合計コスト①+②	13,080				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 スポーツ推進課

事務事業名	市民生涯スポーツ振興事業
-------	--------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	2-1	切れ目ない健康づくりの推進	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費・政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	市民生涯スポーツ振興事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

- 1 熟年者健康スポーツ支援センター設置及び熟年体育大学を開校することにより、高齢者の体力低下の抑制や健康づくりを推進するとともに、受講者同士の交流を図るもの
- 2 健康者も障がい者も一緒にスポーツを楽しむことで共に生涯スポーツにつながることを感じてもらうことを図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 1 熟年体育大学（総合体育館コース）
 - (1) 内容：運動・生活習慣を見直し、運動を継続することによる心身の健康・体力づくりを支援(入学資格 40歳以上 期間 2年間)、松本大学、信州大学等の講師による健康講座やスポーツ実技、ウォーキング、体力測定、血液検査など
 - (2) 実績(受講者数・講座開講数)
 - ア 1学年 34名 年22回→21回
 - イ 2学年 36名 年16回→17回
- 2 スポーツを通じた共生社会実現事業
 - (1) 内容：パラスポーツ体験会、当課職員の障がい者スポーツ指導員資格取得、アスリート発掘、パラスポーツ指導者認定登録、スポーツ大会の開催(パラ種目に特化したもの)
 - (2) 実績
 - ア 体験競技(ポッチャ、車いす卓球、吹き矢、スラローム、シットイングバレー、車いすテニス)を計6回開催 ※延べ111名参加(障害者36名、スタッフ延数64名)
 - イ 当課職員(1名)が初級障がい者スポーツ指導員資格を取得
 - ウ パラスポーツ各種を体験してもらうことで「シットイングバレーボール」、「車いすテニス」の競技団体と連携
 - エ パラスポーツ指導者認定登録制度を令和4年3月から募集開始
 - オ 12月にパラスポーツ運動会(ポッチャ部門、車いすボートボール部門)を開催、17チーム延べ74人(障がい者12人)が参加 ※スタッフ延数39名

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
生涯を通じて勤ける体づくりのための活動を取り入れている。感染症対策を万全にして柔軟な対応により実施することができた。新規事業のパラスポーツについては、普及啓発を実施した。今後も継続していく必要があると認識しています。		
熟年体育大学は、行政と大学が連携し、運動、健康メニューを提供してきたが、現在は、各地区の公民館や、民間等で類似事業が実施するようになり、本人の体力や生活スタイルに合った事業を市民が選択できる状況であるため、一定の役割を終えたと判断し、令和5年3月をもって終了します。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	データ改善率(持久体力維持・改善者率)				
指標の設定理由	熟年体育大学の運動効果(6分間歩行のデータから)				
目標値	80%	80%			
実績値	80%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	参加者の満足度(アンケート)				
指標の設定理由	パラスポーツ事業の参加者の満足度				
目標値	80.0%	80%	80%	80%	80%
実績値	100.0%				
達成度	125.0%				

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	7,620				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,620				
② 人件費(千円)	18,200	人工			
正規	15,180	2			
会計年度任用 (772416、バ→72141・2類)	3020	1			
会計年度任用 (バ→72143・4類)	0	0			
合計コスト①+②	25,820				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 スポーツ推進課

事務事業名	負担金
-------	-----

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

各種大会の開催により、他地域との交流を促進させ、交流人口の拡大等による地域の活性化を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の事業を実施

- 第19回松本クロスカントリー大会
小学生から大人までが、距離、年齢、性別等により18のカテゴリー種目に分かれて実施
- 第30回市町村駅伝競走大会
長野県内の市町村による駅伝競走大会
- 東京2020オリンピック事前キャンプ (6月補正 7,860千円)
東京2020パラリンピック自転車競技フランス選手団の事前キャンプ (8/15～26)
- 松本マラソン2021
10月3日(日)に開催予定であった松本マラソン2021は、豪雨災害の影響により中止となった。事業費には開催準備までの費用が含まれる。

※令和3年度事業費137,280千円には、松本マラソン開催費用も含む。

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
地域の「スポーツ大会」や松本の特徴を生かした「松本マラソン」の開催など多彩なスポーツイベントにより、幼少期から参加できる生涯スポーツ活動の推進が図られていると認識しています。 スポーツ指導者の育成と技術力向上等について取り組んでいきます。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-3	スポーツを楽しむ環境の充実	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		人口定常化戦略	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費・政策的経費			

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	松本クロスカントリー大会参加者数				
指標の設定理由	参加者数＝成果				
目標値	1000	1000	1000	1000	1000
実績値	969				
達成度	96.9%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	137,280				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	137,280				
② 人件費(千円)	7,590	人工			
正規	7,590	1			
会計年度任用(Ⅱ-1/2/4/1・2類)	0				
会計年度任用(Ⅱ-1/2/4/3・4類)	0				
合計コスト①+②	144,870				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 スポーツ推進課

事務事業名	補助金事業
-------	-------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の多様なスポーツニーズを把握し、ライフステージに応じた生涯スポーツ等の推進を図るもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

市民がスポーツに参加する機会やスポーツを通じた交流の機会の創出、市民スポーツ活動への支援を目的として以下の団体等に補助を実施

- 松本市スポーツ協会
競技スポーツと生涯スポーツの普及・振興を図る松本市の総合的な体育団体である一般財団法人松本市スポーツ協会へ補助
- スポーツ推進委員協議会
地域スポーツの推進等を図るスポーツ推進委員協議会へ補助
- 長野県縦断駅伝競走大会
松本市チームへ補助(大会中止)
- スポーツ少年団
青少年の健全育成、指導者等の育成を図るスポーツ少年団へ補助
- スポーツ交流大会
競技団体が独自に実施している姉妹都市とのスポーツ交流大会へ補助
少年サッカー・卓球(交流大会中止)
- 全国大会、北信越大会
松本市で開催される大会へ補助(全国大会3件、ブロック大会4件中止)
- ジュニアスキー育成
青少年の健全育成、競技スキー技術の向上を図るスキー団体へ補助
- 全国高等学校総合体育大会(政策的経費)
令和3年度全国高等学校総合体育大会テニス競技へ補助

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
新型コロナウイルス感染症の影響で、各種大会の縮小・延期、中止などはみられるが、主管団体の開催方法等の工夫により、徐々に活動が再開されています。 市民が主体的、継続的に取り組むスポーツ活動を推進するため、団体等への補助を継続して行っています。		

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-3	スポーツを楽しむ環境の充実	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		人口定常化戦略	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費・政策的経費			

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	設定なし(補助金を交付する事業)				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	34,730				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	34,730				
② 人件費(千円)	7,590	人工			
正規	7,590	1			
会計年度任用(ワ1916、ワ19161・2類)	0				
会計年度任用(ワ19163・4類)	0				
合計コスト①+②	42,320				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 スポーツ推進課

事務事業名	スポーツ施設管理運営事業
-------	--------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-3	スポーツを楽しむ環境の充実	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		経常経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	スポーツ施設管理運営事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H25～

市内76カ所のスポーツ施設について、直営・指定管理者制度等により管理運営を行い、利用者が身近な場所で手軽にスポーツに親しめる環境を維持・整備するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 概要
体育館25、運動広場20、庭球場8、プール6、野球場2、サッカー場2、その他13、計76カ所のスポーツ施設の利用受付・調整、各施設直営・業務委託・指定管理等による維持管理等を実施
- 施設予約の受付等
市内大会等の予約調整会議の後、前・後期に分けて市民を対象とした予約の一斉受付を行うほか、施設の空き状況により随時利用を受付した結果、延べ2,194,198人の利用があった。
- 施設の維持・管理(修繕・営繕工事)
(1) スポーツ器具、電気設備、消防設備等の修理58件
(2) トイレ、照明器具、給排水設備等の改修工事69件 56,267,376円
- 施設の管理・清掃・保守点検等の委託
(1) 地区体育施設等について、鍵貸出し等の管理業務委託13件
(2) 清掃委託(清掃、除草他)22件
(3) 保守点検委託(電気工作物、消防設備他)37件
- 指定管理による施設管理
体育施設のうち、24施設を指定管理者制度の導入により管理・運営(7指定管理者に委託)

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
指定管理者制度導入・市職員によるスポーツ施設の定期点検・整備や専門業者への委託業務により、施設の維持管理を継続して実施しています。 今後も優先度の高い施設の整備、改修を計画的に行い、安全・安心な施設の管理に努めます。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	施設数の上限を78以下とし、施設の適正な維持管理				
指標の設定理由	公共施設再配置計画の将来施設総料の削減、施設の適正な維持管理				
目標値	78				
実績値	76				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	568,400				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	568,400				
② 人件費(千円)	50,758	人工			
正規	31,878	4.2			
会計年度任用(7月1日、10月1日、2月1日)	15100	5			
会計年度任用(10月1日、3月1日)	3780	2			
合計コスト①+②	619,158				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 スポーツ推進課

事務事業名	社会体育施設大規模改修事業
-------	---------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-3	スポーツを楽しむ環境の充実	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	社会体育施設大規模改修事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~R4

施設の老朽化が顕著な社会体育館について、市民が安心、安全に利用できる施設環境を整備するため、大規模改修工事を実施するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 令和3年度	梓川体育館劣化度調査 4,675千円
2 令和4年度	梓川体育館大規模改修工事実施設計
3 令和5年度	梓川体育館大規模改修工事(非構造部材耐震化工事含む)
4 令和6年度	奈川木曽路原体育館劣化度調査
5 令和7年度	(1) 奈川木曽路原体育館大規模改修工事実施設計 (2) 今井体育館劣化度調査

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
個別施設計画で基準を定めている鉄骨造は40年で大規模改修、80年で改築、鉄筋コンクリート造は40年で長寿命化、80年で改築とすることに基づき、スポーツ施設の維持管理に必要な改修を計画的に進めます。		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	整備施設数(調査・実施設計等を含む)				
指標の設定理由	施設の適正な維持管理				
目標値	1	1	1	1	2
実績値	1				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	4,675				
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	4,675				
② 人件費(千円)	1,518	人工			
正規	1,518	0.2			
会計年度任用(ワ-17416、ワ-17417・2類)	0				
会計年度任用(ワ-17416・3・4類)	0				
合計コスト①+②	6,193				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 スポーツ推進課

事務事業名	屋内体育施設耐震化事業
-------	-------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-3	スポーツを楽しむ環境の充実	市長公約	公約	—
5つの重点戦略	—		市長公約	主な取組み	—
予算要求区分	政策的経費				

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	屋内体育施設耐震化事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28~R4

屋内体育施設の非構造部材(バスケットゴール・照明・吊天井等)の落下防止及び耐震化等の対策を講じ、利用者が安全・安心して利用できる環境を整備するもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

1 令和3年度実績

(1) 波田B&G海洋センター	1,298千円
時計、スピーカー、窓ガラス等の落下防止対策	
(2) 四賀屋内ゲートボール場	5,368千円
照明、窓ガラス等の落下防止対策	
(3) 南部屋内運動場	1,298千円
照明、棚等の落下防止対策	
(4) 南部体育館	6,290千円
バスケットゴール、時計、棚等の落下防止対策	

上記4施設の改修を実施合計 14,254千円

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
<p>本年度計画していた4施設の改修事業は予定のとおり実施できた。工事費用の圧縮、利用制限を極力抑えるため、大規模改修事業と一体的な工事を行っています。市民のニーズや利用状況を把握し、松本市個別施設計画に基づき、安全・安心な施設として維持管理に努め、将来を見据えた改修、集約化・複合化の環境整備を進めます。</p>		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	計画的に整備事業を実施				
指標の設定理由	施設の適正な維持管理				
目標値	4	3	1		
実績値	4				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	14,254				
国・県	4,795				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	9,459				
② 人件費(千円)	1,518	人工			
正規	1,518	0.2			
会計年度任用 (H28年度、R1~R2年度)	0				
会計年度任用 (R1~R4年度)	0				
合計コスト①+②	15,772				

事務事業評価票

部局名 文化観光部 課名 スポーツ推進課

事務事業名	波田扇子田運動公園移設整備事業
-------	-----------------

<第11次基本計画の位置付け・重点戦略>

<市長公約の位置付け、予算要求区分>

基本施策名	7-3	スポーツを楽しむ環境の充実	市長公約	公約	—
5つの重点戦略		—	市長公約	主な取組み	—
予算要求区分		政策的経費			

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	波田扇子田運動公園移設整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 H28～R7

中部縦貫自動車道(松本波田道路)が、波田扇子田運動公園を横断する計画ルートとなっており、長野国道事務所長との移設協議に基づき、同計画の促進のため、当該施設の移設整備を行うもの

<事業の実施内容及び活動実績(実績値)>

- 基本設計業務（R元～R2債務負担行為）
波田扇子田運動公園移転に伴う代替地への公園機能回復に係る基本設計の実施（計画図面の作成、地元及び関係機関との協議等）
- 事業費
全体事業費 9,900千円
令和元年度事業費 2,970千円
令和2年度事業費 6,930千円
- 用地測量・地質調査業務（令和3年度）
代替地の用地測量及び地質調査を実施（令和3年度事業費 7,106千円）

<現状に対する認識と今後の方向性>

現状に対する認識	今後の方向性:	継続
本年度は、地元関係者等に移転計画の概要と今後のスケジュールを説明し、理解を得られることができた。 今後も地元及び一般利用者のニーズや利用状況を把握しながら、関係団体等と調整して移設整備を計画的に進めます。		

<指標の達成状況>

総合評価

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 成果指標(指標名)	設定なし(国の事業計画に基づく移設整備事業)				
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 事業費(千円)	7,106				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	7,106				
② 人件費(千円)	1,518	人工			
正規	1,518	0.2			
会計年度任用(ワ2946、ワ29461-2類)	0				
会計年度任用(ワ29463-4類)	0				
合計コスト①+②	8,624				